

1 はじめに

本校では、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てることを特別活動の目標としている。そこで、児童自らが話し合い、活動する内容を決めることで、一人一人が進んで活動できるよう取り組んでいる。今回は、運営委員会の活動内容と全校で取り組んでいる縦割り班活動「ハッピータイム」についての実践を紹介する。

2 資料

(1) 運営委員会の活動内容

月	活動名	月	活動名
4	1年生歓迎集会	7	創立記念クイズ
5	運動会	11～1	委員会紹介
6～7	果樹園・教材園の名前決め	3	6年生を送る会



ア 果樹園・教材園に名前を付けよう

(ア) 本校には、敷地内に果樹園・教材園があり、その名称を募集した。3年生以上の各学級の代表者が集まり、代表委員を発足し、どのような果樹園・教材園にしていきたいか話し合った。話し合いの結果、「豊咲園」という名称に決定した。「豊浦っ子にも笑顔がたくさん咲くように。」という意味が込められている。地域の方や豊浦っ子みんなと協力し、素敵な果樹園・教材園にしていきたいと委員会でも除草など環境づくりに取り組んでいる。

イ 創立記念クイズ

(イ) 7月1日の創立記念日に向けて、「創立記念クイズ」を行った。豊浦小学校に関するクイズを通して、149年かけて築かれてきた歴史を知ってもらい、学校をもっと好きになってもらうことをねらいとしている。運営委員会では、ねらいを達成するために何度も話し合いをもった。全ての児童に分かりやすいようにクイズを低学年用と高学年用に分けて作成した。休み時間には、多くの児童がクイズに参加していた。全問正解者には、後日、運営委員会からしおりが贈られた。児童は、クイズに参加することで豊浦小学校の歴史を知り、愛校心を養うことができた。

(2) 縦割り班活動 「ハッピータイム」について

本校では、縦割り班活動として、「ハッピータイム」を設定している。1年生から6年生までを15グループに分け、月1回、ロング昼休みに行っている。6年生がリーダーとなり、活動場所や下級生の意見を参考にしながら遊びの内容を計画し、準備したり当日の進行を行ったりしている。また、5年生は2年生の活動場所までの送り迎えをしており、徐々に最高学年への意識が高まっている。1～4年生は、普段とは違う異学年での交流を楽しみにし、当日の6年生の説明をよく聞き、生き生きと活動している。

3 成果と課題

本校では、6年生が中心となって児童同士が協力して主体的に活動している。5年生も6年生を手本とし、徐々に自ら考えて活動できるようになってきた。また、各学級の代表児童で発足した代表委員会の話し合いにより、全校児童でよりよい学校にしようとする意識が高まった。

感染予防策として、行事の精選や規模の縮小を検討しつつも、活動の仕方や行事の持ち方を工夫することによって、児童の主体的な活動を支えていきたい。